

2017（平成 29）年度 プログラム募集要項

チェコ：カレル大学 プラハ・ジャーナリズム・サマースクール

研修の趣旨

本研修は、チェコ・カレル大学での 2 週間のプラハ・ジャーナリズム・サマースクール 2017「クロス・プラットフォーム外国特派員」（英語講義）に参加することを通して、国際的な視野と外国語運用能力を獲得するとともに、比較文化的・多角的な視点からグローバルイシューに取り組み、その解決を図るための能力を養います。

研修概要

カレル大学の研究者やジャーナリストなどの専門家によるワークショップや授業に参加します。世界中から集まった 25～30 名の参加学生と、外国特派員という仕事を体験しながら、その知識や技能を深めることができます。参加には、欧州言語共通参照枠（CEFR）の B2 以上の英語力が必要です。

【募集対象者】

神戸大学国際人間科学部生、発達科学部生、人間発達環境学研究科院生

国際文化学部生、国際文化学研究科院生（ただし、下線のある学部・研究科は単位付与なし）

【受入機関】

Charles University カレル大学（チェコ・プラハ）

サマースクール詳細 URL: <http://summer-school.fsv.cuni.cz/>

【日程】

2017 年 8 月 27 日（日） プラハ到着（前日日本出発）

2017 年 8 月 27 日（日） 授業開始～9 月 9 日（土）終了

2017 年 9 月 10 日（日） プラハ出発（翌日日本到着）

【募集人数】

最少・最大催行人数の設定はありません。ただし、世界中から来た応募者の中から、カレル大学が 25-30 名を選抜します。そのため、応募時点では参加は確定しません。

【プログラム】 Prague Summer School of Journalism 2017 “Cross-platform foreign correspondence”

	初日 (8/27)	月～金	土	日	最終日 (9/10)
7:30-8:30	Arrival	Breakfast	All-day trip	Free day	Departure
9:00-12:00		Workshop, Fieldwork, Lecture			
12:00-14:00		Lunch and Break			
14:00-16:00		Registration			
Evening	Welcome Dinner	Evening Events			

※ プログラムは一部変更される可能性があります。ホームページを確認してください。

【滞在先】

カレル大学の学生寮 (The Kajetánka hall of residence) に滞在します。(大学まで公共交通機関 30 分程度)
寮の住所: Kolej Kajetánka, Radimova 12, 160 00 Prague 6

【参加費】概算総額 (1 ユーロ=120 円で換算) 28 万円～

参加費 870 ユーロ (約 104,400 円、学生寮の宿泊費が含まれます)

海外送金手数料 約 3,000～10,000 円 (参加人数に応じて変動します)

小計 107,400～114,400 円

航空運賃 167,870 円～ (航空券手配時に購入可能な航空券の状況次第で、金額は変わります)
(航空券に付随する諸経費を含む)

総額 275,270～282,270 円 (予定)

※ 上記の日本円での費用は目安です。為替の変動などにより、金額が変わることがあります。

※ パスポート取得に係る経費、ビザ申請にかかる経費 (日本国籍保持者はビザ不要)、付帯海学 (海外旅行保険、約 5,000 円)、出発・帰国空港までの交通費、寮から大学までの通学交通費、夕食代、その他個人経費などは、個人負担となります (上記の総額に含まれておりません)。

※ 航空券は、個別あるいは大学生協で別途手配することが可能ですので、希望者はプログラム参加決定後の指示に従って手配してください。

【申込・受付期間】

所定の書式 (日本語) により、電子ファイル及び紙媒体で、下記締切までに、国際人間科学部 GSP オフィス (鶴甲第 1 キャンパス E 棟 1 階) に申し込んでください。

申込締切: 2017 年 5 月 23 日 (火)

申込先: 国際人間科学部 GSP オフィス (鶴甲第 1 キャンパス E 棟 1 階、gsp-info@fgh.kobe-u.ac.jp)

【オリエンテーション及び日程】

有意義で実りある研修にするために、下記の予定で「GSP 演習 (オリエンテーション 2)」が行われます。参加者は、すべての回に出席すること (国際人間科学部生の場合、必修科目の一部となります)。

- 6月初旬 提出書類と、詳細手続きの案内を GSP オフィスから各参加者にメール送付。
- 6月中旬 研修先への書類提出期限
- 7月初旬（金曜1限） 「GSP 演習（オリエンテーション2）」第1回：
研修の諸注意（手続きガイダンス）、目標設定（学びたいこと、挑戦したいこと）
- 7月中旬（金曜1限） 「GSP 演習（オリエンテーション2）」第2回：
現地事情に関する研修、スケジュールなどの最終確認
- 6月～7月 危機管理オリエンテーションの受講（4回開講されるうちの1回を受講）
- 8月25日までに 海外渡航届の提出

※ 国際人間科学部生は、別途「学びの設計図（海外研修）」と「振り返りシート（研修型）」の提出が必須です（詳しくは、「GSP 演習（オリエンテーション1、2）」で説明します）。

【取消料の取扱】

※ やむを得ず参加取消をすることになった場合、参加取消の連絡をカレル大学に行く日付（神戸大学が連絡を受ける日程ではありません）によっては、以下の取消料が発生します。

海外送金後～6月23日	参加費の90%が返金。残りの10%は手数料に充てられます。
6月23日～	個別に相談

- ※ 海外送金後の返金の場合、海外送金手数料の返金はありません。また、為替レートの変動により、返金額（日本円）は返金相当額と変わる可能性があります。
- ※ 航空券に関する取消料は、各自が申し込む航空券の種類により異なりますので、航空券申込先で確認が必要です。

【教員の随行】

教員の随行はありません。

緊急連絡体制については、7月中旬の「GSP 演習（オリエンテーション2）」の2回目で、参加者各自にお知らせします。

【留学生危機管理制度（OSSMA）・危機管理オリエンテーション】

大学規定により、留学生危機管理制度（OSSMA）への加入、及び危機管理オリエンテーションへの参加が義務付けられています（参加者の費用負担はありません）。

危機管理オリエンテーションの受講日時が決定次第、参加者に別途連絡します。

【本研修参加によって修得できる単位】

所属学部・研究科	単位（研修参加時に神戸大学在学中であること）
国際人間科学部	必修科目「GS コース（研修型）」の一部となります （「GSP 演習（オリエンテーション1）」で詳しく説明します）
発達科学部 人間発達環境学研究科	「海外実習」単位の申請が可能です。 それぞれの所属学部・研究科の学生便覧学部規則等の「海外実習の単位認定に関する内規」を参照してください。 発達科学部（平成 28 年度版） https://www.h.kobe-u.ac.jp/sites/default/files/general_page/handbook_f_2016_all_web.pdf
国際文化学部 国際文化学研究科	単位認定なし

【参加申込にあたっての留意点】

1. 参加申し込みにあたっては、保護者もしくはご家族と十分に話し合った上で申し込んでください。また、神戸大学の授業・試験・行事・部活動のスケジュールなども十分に確認した上で申し込んでください。
2. 参加者決定は、先着順ではありません。参加には、欧州言語共通参照枠（Common European Framework of Reference for Languages: CEFR）の B2 以上の英語力が必要です。参加申し込み後、カレル大学に応募書類を提出し、選抜があります。
3. 神戸大学の学生として恥ずかしくない行動をとることができる学生の参加を期待します。書類提出の期限、オリエンテーションへの出席、団体行動に対する意識など、規律ある行動をとるように心がけてください。このようなことが遵守されない場合は、参加を取り消すことがあります。
4. 本研修の参加者に決定した学生で、パスポートを未取得の場合、ただちに申請手続きに取り掛かってください。
5. 電子メールアドレスは、申し込み後の様々な連絡に必要となるほか、研修中にも重要な連絡手段となります。大学からの連絡は、学籍番号メールで行います。海外でもアクセス可能で、国内でも頻繁に使用するメールアドレス（Web ブラウザで確認できるメールを推奨）を取得し、学籍番号メールの転送設定を各自で行ってください。
6. 研修期間の重なる、学内の他の海外研修と重複して申し込むことはできません。
7. 8 月 14 日から 8 月 16 日の 3 日間は、神戸大学夏季一斉休業です。書類提出の際は、日程に注意してください。

【本プログラムに関する問い合わせ先】

国際人間科学部 GSP オフィス

鶴甲第 1 キャンパス E 棟 1 階（国際人間科学部教務学生係隣）

E-mail: gsp-info@fgh.kobe-u.ac.jp

Tel: 078-803-7601